

野に思ふ

〔二〕 僧一郎

野に思ふ 倍一郎

ほんとうになど一人の人間を愛することの出来るものは恐らくすべての人を愛することが出来るであらう。

千人万人を愛すると自信する人々の愛にはともすれば空虚があるではないか。

今日の宗教家、社會運動家たちは千人万人を愛することが出来るかも知れない。

おゝクリストはただ一人のイスカリオテのユダを愛することに困難を感じなかつたか。

色々な人間を知ることが藝術家にとつて必要なことであることにちがいない、だが實際にただ一人の人間すら完全に知りつゝすることは一生を費しても不可能ではないか。

ただ一人の人間のうちには、ぬみつくすのとの出来ない人間そのものが永遠性に生きてゐる。「女の裸体は神の傑作である」とブレーリーは云つた。

ユダもミロボーもブータも百姓も泥棒もクリストにとつては無意義なものではない、神の子であり、神の傑作であつたらふ自然の本體は愛であると思はなければならぬ日がある。

伯國の冬は短い、そして浅い冬らしい感じが日本に於ける程そんなに胸に來ない。

然し夕暮家のまはりを歩いて居ると、短いそして浅い冬の枯草の上にしやがんでぢつと小さな一つの芽を見つめてゐると自然と云ふものゝ不可思議な謎の深さが一層深く感じられる、ただ駄目つたまく刹那々々に伸

マットの中に樹の根の机に青草の腰掛け
学ぶ兒童ら何の不足も知らないで何の憂も持たないで有りましたお伽噺した
母國を出でて ブラジルの
お山の奥で お猿の學校が
あるました お猿の學校は
学ぶ兒童は マットの中で
學びます 樹の根に賴つて
學びます 何の不足も知らないで何の憂も
無心に 無意に 無意に 無意に
學ぶ兒童らよ 土にやすらひ 土に働く
山の兒童よ 學ぶ月日は 少ない
山伐りも 山伐りも 山伐りも 山伐りも
小さい身ながら 小さい身ながら 小さい身ながら 小さい身ながら
負ふのです 負ふのです 負ふのです 負ふのです
おゝ 教へ兒よ 愛し兒よ 汝は今
瓦のまゝで 瓦のまゝで 瓦のまゝで 瓦のまゝで
明暮に お山の奥の お山の奥の お山の奥の お山の奥の
瓦のまゝで 瓦のまゝで 瓦のまゝで 瓦のまゝで
育ちます 育ちます 育ちます 育ちます
土間の小さい 教室に 何の設備が ありませう

A line drawing of a human leg from the side, showing a fracture in the middle of the femur. The fracture is stabilized by a long metal nail (intramedullary nail) and several cross-wires (K-wires). The knee joint is visible at the bottom.

教へ子に
社 いき子

The image shows a horizontal strip of Japanese newspaper clippings from 1923. It includes several advertisements:

- T. Takara** Cirurgião Dentista (Dental Surgeon) in Araçatuba.
- A large eye icon.
- Arte Phot Roton Studio** - CAFELANDIA - offers night photography services.
- Penha驿写真館** (Penha驿 Photography Studio) offers night photography services.
- モデルナ薬店** (Moderna Pharmacy) offers pharmaceuticals at low prices.
- Dr. H. Saito MEDICO** (Dr. H. Saito Physician) offers medical services.
- 齊藤等** (Saito et al.) offers medical services.
- Pharmacia N. G. da药房** (N. G. da Pharmacy) offers pharmaceuticals.
- 歯科醫山中信一** (Dental Surgeon Yamamoto Shinsaku) offers dental services.
- 石井針灸マツサージ療院** (Ishii Acupuncture and Matsujiro Therapy Institute) offers acupuncture and massage.

Other text elements include:

- △内外薬品△ (Pharmaceuticals)
- △内外香料△ (Cosmetics)
- 調剤一切。賣買卸し小賣。 (Pharmaceuticals, buy/sell, wholesale/retail)
- 北西線リス市リオ・ブランコ街二五番 (Address: 25th Street, Rio Branco, West Line, Lisboa City)
- パウル市バチスタ・デ・カルバリョ街五—三一一 (Address: 5-311, Barroso, Paulista City)
- 宮平市助 (Businessman: Miyagawa)
- 北西線リス市イデンシャ街五—三一一 (Address: 5-311, Idenchaya, West Line, Lisboa City)
- バウル市イデンシャ街六—三 (Address: 6-3, Idenchaya, Barroso, Paulista City)
- ペソソソ
プログレツソ (Products: Pessooso, Progrezzo)
- インコン (Incon)
- パウル市 (Barroso City)
- オラボビラク街三〇 (Address: 30, Olávobirkak, São Paulo City)
- シネマの裏向ふ (Behind the cinema)
- 北西線アラナツバ駅 (Alancazba Station, West Line)
- オラボビラク街三〇 (Address: 30, Olávobirkak, São Paulo City)
- サンス市ルイスガマ街五八 (Address: 58, Luís Gama, Santos City)

十三回十一鉢の元利合計を受取ることになるであらう、然るに物價はどうあるか、最近の趨勢では十年間に三倍し、或は少くとも二倍の増加率を示してゐる。だから私は貯金をすればする程損をしなければならない。若しその物價が三倍になつたとしたらば、私は百圓を定期預金として十年後に、百三十六圓八十九錢の損失を蒙り、二倍にしたとするならば、三十六圓八
るまいし、飲め／＼といふ、

たら、君は平氣で平げて丁つた キンカツは腐つてゐたではないか、それをどうするかと見てゐて？労働者にとつては明日の天氣が命の親だ 仕事を終へて、富川町へどや／＼と降りて来て、家の繩暖簾と空模様三分に睨分ける、そいつは天氣だと思ふなら、俺の所の繩暖簾を押陰い一本頼むぜ」と来る

貧乏のけう樂化

赤
神

良
諭

釣瓶つりの釣瓶きく朝
マキナの音について行く木の香土の山
からの顔を小鳥に見せる
風と雨とくもりやもそとも嵐の夕べ
子供「今晚は」と風呂もらひに來た

▲新俳句▲

草に眠る

獨行旅

釣瓶つりつゝ釣瓶さく朝
マキナの音について行く木の香土の香
山からの顔を小鳥に見せゐる
風と雨とくりやもそとも嵐の夕べ
子供「今晚は」と風呂もらひに來た

待なれた雨の夜をよれる音
山家の家の蚊になきよられ
花四五株雨ふるわが家
雲を見に出る夜鷹が來てゐる
木ぎれあつめて立てたり崩しなが
秋に住んで若夫婦と犬の仔
日曜あかるく神花きつてねます
めつたに笑はぬ顔が笑つてゐる
朝が明るし一日の働きはじまる

Engenheiro Civil
S. Okamoto
岡本専太郎
エンヂネーロ
将来測量師希望ノ健
康青年ヲ求ム多少無經驗有レバ尙良シ希切
者ハ左記へ御照會
バウリスター延長線
ドゥアルチーナ譯
二二

DE
MEDIC
北西線
アラサフーパ街
大原兄弟商會裏

D. K. DAIAN
O-OPERADOR-PARTEIRO
ARAÇATUBA —

ドットル 電氣治療 ▲▲▲外内科 婦人科

Dr. Osvaldo Faria
Medico-Operador-Parteiro
CAFELANDIA

オルランド・ファルカ
Dr. Orlando Falcão
サンバ市 カーニバル

**HOTEL
S.PAULO**
T. NAGATA
Araçatuba

古玉サンパウロ

北西線アラサツーバ驛 郵函一九〇
マレシヤル・デ・テオドロ街三九〇
館主 水田忠雄

YAMAGUCHI
Biriguyu
ノロエスチ線ビリダギ驛
山口兩助
郵局二七
雜貨販賣
五金買賣
商店

Casa Yabiku
*Armazen de secos, molhados
Compra-se cereais*
ARAÇATUBA

△内外雜貨 △小間物
△金物 △其他一切
農產物買入 屋比久商店

北西線アラサツーベ市マレシャルデオドロ街
日本品・小間物・西類
四十九 邮局二〇八

Casa Koga
Caixa, 30
GUAYÇARA

△内外雜貨
△小間物
△和洋酒
△鑄詰類
△穀物仲買

古賀商店

○貸自働車あり
○白米の御用命に應ず
古賀菊之助

松岡歯科醫院

Missão Japoneza
do Brasil

R. Galvão Bueno, 85
Caixa, 2-2 de São Paulo

寄宿舍、日本語學校、夜學校、葡語通信教授

財團法人 聖州義塾

サ・ン・パ・ウ・ロ 教會

日曜學校 午前八時半 大人集會 午后七時

場所 聖市 ガルボン・ブエノ街八五番

小林美登利

Marcenaria
JAPONEZA
MASSAGI KOGA
BAURU'
家具製販賣
商工展覽會金メタル受領
バウル市ワシントンルイス街六ノ三
(シネマ前) ▲電話三四番
古賀政次

○境堺
アラメ棚にて囲まれ嚴然たり。以上の如き優良地を十、二十、五十等の小區に區切つて特價で分譲致します。

◎位置 マットグロツン州カンボグランド市を距る十
八キロメートルス。
◎交通 ボンタボラン、エントレリオス、マラカジユ
、ドウラード等南部麻州地方に連絡する交
通路に程近く、乗合自動車の往復頻繁。
◎地質 殊にS M 鐵道豫定線迄は僅かに三十分にて
歩行にて達し得る處なれば新線開通と同時
に地價の暴騰するは疑ひない。
◎風土 テーラロシャにして肥沃。牧草(カビンブラン
コ其他)繁茂し、模範牧場として又農場(特に
機械耕耘の)に最適す。
◎面積 地勢、眺望、氣候一點の批難なし。
◎境界 約一千アルケーレス(聖州反)。
アラメ柵にて圍まれ嚴然たり。以上の如き優
良地を十、二十、五十等の小區に區切つて特
別に開墾成る。

聖州邦人三線年鑑發行豫告

在伯聖州日本人

今や拾万人と呼ばれます。

殖民はその十万人一團の、中堅と申します

ソロカバナ鐵道沿線邦人殖民と、
パウリスタ延長鐵道沿線邦人殖民と、
ノロエスチ鐵道沿線邦人殖民

である事は、誰もがお世辭であるとは、想はぬ
でせう。

本社は微力なる公機關ではありますが、以上三沿
線住居の邦人殖民状態を調査し
「聖州邦人三線年鑑」を編纂して、一九二九年度に
於ける、聖州邦人十万の中堅が、如何の模様であつ
たかを、永久に紀録に記したい希望あります

調査項目

- 一、三線中の各邦人殖民地
- 二、其殖民の家長、家婦、姓名、縣、郡、町
村別、入伯年月、入殖年月、家族數、伯
國出生數の男女別、入伯後死亡數の男女
別。
- 三、所有土地及借地面積、開拓面積、購入價
額、及時價、借地料。
- 四、珈琲栽培株數（五年以上株數別、若株數
別）今年度收穫俵高
- 五、棉花栽培面積及本年度收穫アローバ高。
- 六、糉、豆、ミーリオ本年度收穫高、豚、牛
馬、乘用自動車及貨物自動車所有數。
- 七、蚕繭本年度收穫高、桑株數
- 八、職業別、開業年月、宅地持、家屋持
- 九、六年、四年珈琲請負者、其請負株數及其
所有主の國別。
- 十、日本人使用のコロノ數、及其國籍別。

當時七万と稱した在伯邦人が、已に十万と呼ばれる時代となりました。

ノロエスチ鐵道邦人の、其後の移動消長丈けでも、
事業の活動振を、鮮にしたいと、
尙。尚。尙。

今度は、聖州邦人三線年鑑を出版する事に致しました。

斯三沿線における邦人集團地のある處、それは本
社調査員が、殆んど戸別に訪問しまして、調査に
遺漏なきを期すつもりであります、本社の努力勤
勉と相まって、三線邦人有志諸君の、偉大なる御聲
援と、在伯有識及資本家の御後援も、充分仰がなければ、事は正確順調に進展上就せないものと案じて
居ます。

新らしい語調で申しますと、本社は、唯在伯大和
民族大衆の尖端を承はつての仕事を運ぶものであります。

皆様御諒承被下さい。

豫約規定

豫約金

一冊に付……五ミルレース也
但し豫約者に限り定價より五ミル減
の一冊十ミルレース也にて提供す。
(送料共)

豫約期限
來る十二月末迄
以後は定價の

金十五ミルレース也

(各線豫約申込所は追て發表致します)
(送料は別に申受く)

廣告掲載料

一頁(菊版)型	百ミルレース
半頁	六十ミルレース
四分一	三十五ミルレース

一九二九年八月廿三日

聖州新報社

赤皮の小鞠を抱ねて田舎道を走り行く乗合の中で、夢を見てからである。日本にも田舎道に行くと胸掛や襷などした石地蔵が立つる様に揺れて居た。乘合自動車は煙の中の道を短調に走つてゆく「枯れるのではないかなこの淋しい珈琲の樹の色合つたら」秋の野の雑草のやうに揃つた白い枝は天に向つて立てる「珈琲の樹がお産をしたゆく」何とも言へない痛ましさがあるのだ、さう思ふと凡ゆる珈琲の樹に肥料を散布され、吳れてやりたい様な気になつてくる、何と曲りくねつた鐵路だらう、こんな鐵道を敷いた人間こそ世界の達人と言はねばならないだらうし、毎日毎日是れに乗降して居る人達も又何と經濟無意識の發達した人間のだから、ノロエステの汽車と自動車は毎日八の字を書いて暮しのだから、踏切番の居ない踏切を一キロ越に四回も通過せねば隣の町へは行けない始末、それだからノロエステの汽車と自動車は毎日八の字を書いて暮してゐる様なものである、その間には時々お互ひによつかり合ふ事もある、その度毎に運転手や乗客の犠牲者を墓に送る、が然し誰も不思議とか困したものだ、それが田舎美の極致なのである。其極の無い公園の向側にザーラと薬瓶を陣列さしてゐるのを見ぬない処はないが、あれがジル人の魂なんだらうか、然り彼の十字架に對しては男子は嚴しく澄んだ平原の朝を、いつまでも今更ながら歎息も出まいが、町に行くとどんな小さな部落でも教會の十字架の見ぬない處はないが、あれがジル人の魂なんだらうか。まだあつたるだけであらうか。まだあつたる路旁の名も無い十字架と路上の葬式と而して墓場に向つては丁寧にお辭儀をする人々である、ノロエステの高原にうむ事なし

火が光つてゐる事がある、其處には必ず古びれた十字架が立つてゐる、日本にも田舎道に行くと胸掛や襷などした石地蔵にローネックの灯が燃ねてゐる事がある

ヨロステ記 (五) 村砂

石の地蔵さんと十字架を一所にあげる心と十字架にあげる心

するわけはないが、地蔵さんは自分を安全にしたい心

と身にせまるのを痛感する。そこには一編の旅日記である。果して續く記者の旅にも何かしら或る疲労に似た佗しさがひしょ

と身にせまるのを痛感する。そこでノロエステ旅日記は此の邊改めて再び讀者に見ゆやう。

改めて再び讀者に見ゆやう。

續く記者の旅にも何かしら或る疲労に似た佗しさがひしょ

と身にせまるのを痛感する。そこには一編の旅日記である。果して續く記者の旅にも何かしら或る疲労に似た佗しさがひしょ

と身にせまるのを痛感する。そ

こでノロエステ旅日記は此の邊改めて再び讀者に見ゆやう。

改めて再び讀者に見ゆやう。

滑稽智

ノルマ修道院

第三十席

雷家の一人娘がどうしたものか始終身體がわるい、それかと云つて醫者に見て貰つても何病だとわからない。それで兩親の心配は一通りでなく、かねて親族に當るニナ川新左衛門の許へ来て、娘の病氣の原因を何卒一休禪師にお見分けを願つて頂きたいと頼みこむ、そこで新左衛門は嫌と云つて貰つても何病だとわかる。そこで兩親の心配は一通りでなく、かねて親族に當るニナ川新左衛門の許へ来て、娘の病氣の原因を何卒一休禪師にお見分けを願つて頂きたいと頼みこむ、そこで新左衛門は嫌と云つて貰つても何病だとわかる。

内へはいつて、その盛砂の上を踏んで通る、これを眺めた下男の者は大きめに驚き下「コレ坊主！」と呼んでいるが、一向返事もせずに行つたり戻つたり二三度盛砂の上を踏みにじる、これを見て下男は大ひに怒り下「アム、この乞食坊主奴ッ」と云ひながら、かの禪師の襟

と早速御承知、新左衛門も大いによろこび新どうも有難う存じます、何分宜敷く、しかし禪師折角お出で下さいますのに、あまり粗末なお姿では向ふがよろこびませんから、どうぞ襟立衣に金らんの製さと云ふ様なことで、少し立派になつて行つて頂きたう存じます」

「ウム、さうかそれならもうやめた、何も身體を着飾る程のことにも及ぶまいそのまゝならは行つてもよい」

新「そんな意地わるいことを仰ぎました、それでは禪師こういたしませう、貴郎は平生の通

り墨染の衣でお出で下さいました私は御行列といふ心算でお乗物の中に衣を入れて先廻りをいたしました

関でお召し換へ下さいましたからと約束をとり定め、ニナ川はういたそ」

と約束をして出掛けた、早くも森田の邸前へ來て見ると、今は約束の通り遅れて行く筈であるが、平氣な方であるからと約束をとり定め、ニナ川はういたそ」

から、家來どもは門内または玄関へ出迎へてゐる、新左衛門は馬を門内へ乗り入れ玄關へおり

て居るのぢや、一寸一握手を見せておくれ」羞しそうにして手を出す、

新「ア、一休和尚はまだあら

う、家來衆、後から墨染の衣を着た汚ない御坊が見へる筈だか

禪師は一向無頼着、スターケ門看守は盛砂をしき、第八回も立

派に掃除が出来て、然るに禪師は一向無頼着、スターケ門

堀田歯科医院
薇ラ・サンバイオ

内へはいつて、その盛砂の上を踏んで通る、これを眺めた下男の者は大きめに驚き下「コレ坊主！」と呼んでいるが、一向返事もせずに行つたり戻つたり二三度盛砂の上を踏みにじる、これを見て下男は大ひに怒り下「アム、この乞食坊主奴ッ」と云ひながら、かの禪師の襟

と早速御承知、新左衛門も大いによろこび新どうも有難う存じます、何分宜敷く、しかし禪師折角お出で下さいますのに、あまり粗末なお姿では向ふがよろこびませんから、どうぞ襟立衣に金らんの製さと云ふ様なことで、少し立派になつて行つて頂きたう存じます」

「ウム、さうかそれならもうやめた、何も身體を着飾る程のことにも及ぶまいそのまゝならは行つてもよい」

新「そんな意地わるいことを仰

ぎました、それでは禪師こういたしませう、貴郎は平生の通

り墨染の衣でお出で下さいました私は御行列といふ心算でお乗物

の中に衣を入れて先廻りをいたしました

関でお召し換へ下さいましたからと約束をとり定め、ニナ川はういたそ」

と約束をして出掛けた、早くも森田の邸前へ來て見ると、今は約束の通り遅れて行く筈であるが、平氣な方であるからと約束をとり定め、ニナ川はういたそ」

から、家來どもは門内または玄

関へ出迎へてゐる、新左衛門は馬を門内へ乗り入れ玄關へおり

て居るのぢや、一寸一握手を見せておくれ」羞しそうにして手を出す、

新「ア、一休和尚はまだあら

う、家來衆、後から墨染の衣を

着た汚ない御坊が見へる筈だか

禪師は一向無頼着、スターケ門看守は盛砂をしき、第八回も立

派に掃除が出来て、然るに禪師は一向無頼着、スターケ門

看守は盛砂をしき、第八回も立

派に掃除が出来て、然るに禪師は一向無頼着、スターケ門

看守は盛砂をしき、第八回も立